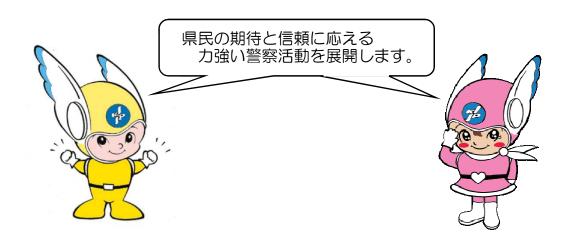
# 平成30年度警察費当初予算(案)

- 〇 平成30年度警察費当初予算(案)の特徴
- O A I を活用した犯罪・交通事故発生予測システムの推進
- 総合的なサイバー犯罪対策の推進について
- 取調べ録音・録画装置の整備について
- 〇 交通安全施設整備費の概要
- 〇 警察施設整備費の概要
- 〇 浦賀警察署新築工事費
- 〇 (仮称) 運転免許センター本館棟の利用開始



警察本部(担当会計課課長代理村野(内線)2211)

### 【基本的な考え方】

安全で安心して暮らせる地域 社会の実現に向け、特殊詐欺や サイバー空間における脅威など の新たな警察事象への対応や最 先端の情報技術を取り入れるた めの事業に重点的な予算配分を 行い、県民の期待と信頼に応え る力強い警察活動を展開するた めの予算案とした。

【前年度対比】	(単位∶万円)
---------	---------

	平成30年度	平成29年度	増	減
	当初予算(案)	当初予算	予 算 額	率
人 件 費	16, 804, 844	16, 820, 870	△16, 025	△0. 1%
物件費	3, 560, 199	2, 879, 322	680, 877	23. 6%
交通安全施設整備費	329, 050	319, 200	9, 850	3. 1%
警察施設整備費	1, 067, 471	472, 883	594, 587	125. 7%
その他物件費	2, 163, 677	2, 087, 238	76, 439	3. 7%
合計	20, 365, 043	19, 700, 192	664, 851	3. 4%

(単位:万円)

		(単位:万円)		
柱/主な施策等/主な事業名	予 算 案	事業内容等		
安全で安心して暮らせる地域社会の実現				
人件費		警察職員の人件費		
給与費(警察本部費)	16, 533, 470	警察官 15,703人(増減なし)		
非常勤職員報酬 (警察本部費)	271, 374	一般職員 1,675人(1人減)		
県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙活動の強	<b></b> 住化	N= == 1= 1		
新 A I 活用型犯罪等発生予測システム推進費	4, 802	▌ 犯罪の抑止、街頭活動及び検挙活動強化の ┃ ための経費		
新録音・録画装置整備費	3, 804	120000		
人身安全関連事案に対する的確な対処		DVやストーカー対策等の人身安全関連事		
生活安全警察費	4, 068	案に対処するための経費		
交通死亡事故の抑止	•	効果的な交通安全教育や交通違反取締を行		
交通取締資器材整備費	1, 666	い、交通死亡事故等を抑止するための経費		
テロ、大規模災害等総合対策の強化				
オリンピック・パラリンピック等に向けた総合	合対策の推進	│ 有事における警察活動及び総合的な指揮を │ 円滑に推進するための経費		
災害対策資機材整備費	3, 820	オリンピック等の大規模イベントにおける 雑踏警備等に必要な経費		
新 オリンピック・パラリンピック推進事業費	2, 631	- 株断言哺寺に必安は社員   		
サイバー空間の脅威に対する総合対策の強化		サイバー空間における犯罪に対処するた		
サイバー犯罪対策費	2, 540	- め、人的及び物的基盤の強化を図るための   経費		
総合的な組織犯罪対策の強化		暴力団や国際犯罪組織などの反社会的集団		
組織犯罪対策費	11, 055	- 等に対する総合対策を推進し、犯罪インフラ等の撲滅を図るための経費		
少年非行防止・保護総合対策の強化		少年の非行防止及び保護に係る総合対策を		
少年警察費	4, 421	強力に推進するための経費		
県民の安心感を高める街頭活動の強化		地域警察官等の街頭活動を強化するために		
警察車両整備費	27, 818	必要な、車両、船舶、ヘリコプターの整備		
ヘリコプターテレビシステム整備費	33, 372	↑ 及び維持に必要な経費 ┃		
道路交通の円滑化及び交通事故防止対策の推進	<u>É</u>	信号機等の交通安全施設の更新及び新設等		
交通安全施設整備費	329, 050	<ul><li>◆ を行い、道路交通の円滑化及び交通事故防</li><li>↓ 止対策を推進するための経費</li></ul>		
警察活動基盤の整備(警察施設整備費)				
厚木警察署新築工事費	82, 800	警察活動の基盤となる警察署等の施設を整 備するための経費		
茅ケ崎警察署新築工事費	143, 400	<ul><li>厚木警察署 :3か年工事最終年</li></ul>		
新 浦賀警察署新築工事費	9, 500	・茅ケ崎警察署:3か年工事2年目 ・浦賀警察署 :3か年工事初年度		
新 緑警察署新築工事実施設計費	9, 000	• 運転免許試験場(本館棟)		
新 警察署耐震補強工事調査設計費	1, 370	:平成30年5月開所予定 等		
運転免許試験場特定事業費	705, 864	1		

## A I を活用した犯罪・交通事故発生予測システムの推進

### 1 目的

AI (人工知能)による犯罪・交通事故発生予測に基づく先制的、効果的な検挙対策を展開するとともに、各種警察活動の効率を高め、県民の体感治安を悪化させている特殊詐欺等の犯罪、交通法令違反等を抑止する。

### 2 予算額

4,802万円

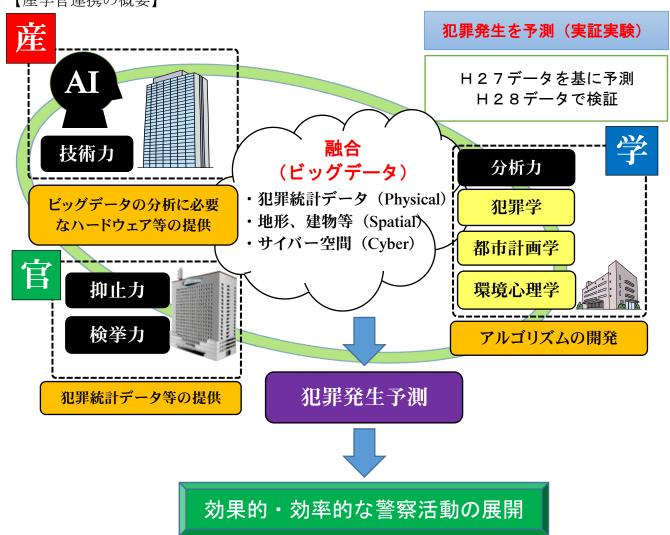
### 3 事業内容

民間企業の技術力、大学等研究機関の分析力、警察が保有する犯罪統計等のビッグデータを活用し、産学官連携の下、AIを活用した犯罪・交通事故発生予測技法等について調査・研究し、システムの構築を目指す。

### 4 導入効果

AIによる犯罪や交通事故の発生予測技法が確立され、効果的な治安対策が提案されることにより、限られた警察官でより効率的な警察活動を展開するための意思決定の支援を受け、業務の省力化と治安向上が期待できる。

### 【産学官連携の概要】



問い合わせ先

警察本部生活安全部生活安全総務課 近藤 電話045-211-1212 (内線) 3020

## 総合的なサイバー犯罪対策の推進について

### 目的

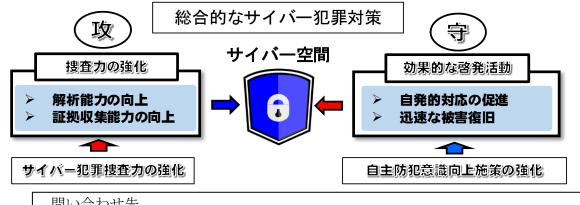
急速に多様化・複雑化するサイバー犯罪に対応するため、捜査技術・解析能力を向上さ せ捜査力を強化するとともに、民間企業等の危機意識醸成と自主防犯対策を促進し、県全 体のサイバーセキュリティを向上させる。

#### 2 予算額

2,540万円

#### 事業内容 3

サイバー犯罪の捜査力を強化する「攻め」の対策と、インターネット利用者への自発的 対応や迅速な被害復旧のための意識を向上させる「守り」の対策を行い、「攻め」と「守 り」の両面から総合的なサイバー犯罪対策を行う。



問い合わせ先

警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 太田 電話045-211-1212(内線)3181

## 取調べ録音・録画装置の整備について

### 1 目的

平成31年6月までに、裁判員裁判の対象となる事件のうち、逮捕・勾留した被疑者の取 調べは、全過程を録音・録画することが義務化されることに伴い、警察署取調室に録音・ 録画装置を整備する。

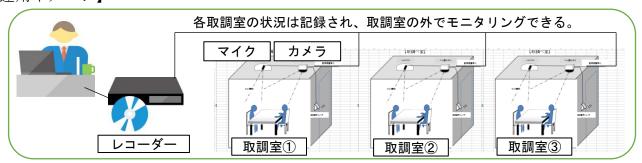
### 2 予算額

3,804万円

#### 事業内容 3

対象事件の取調べを適正に録音・録画できるよう各警察署の署状に応じた整備を行う。

### 【運用イメージ】



問い合わせ先

警察本部刑事部刑事総務課 小林 電話045-211-1212(内線)4011

## 交 通 安 全 施 設 整 備 費 の 概 要

計 画

道路利用者の交通の安全を確保するため、事故防止及び渋滞解消対策を目的とした信 号制御機、信号灯器、道路標識等の交通安全施設を順次整備し、円滑な交通環境を計画 的に整備する。

(単位:万円)

事業名/内容

予 算 額

交通管制施設設備費

56.113

老朽化した集中制御機等の更新を行い、エリア及び周辺の交通の安全の確保と円滑化 を図る。

「主な整備内容〕

集中制御機の更新

50基

交通信号機改良費

76, 022

老朽化した単独制御機等の更新及び感応化、多現示化等の付加機能による信号機の改 良を図り、交通実態に対応した信号機の整備を推進する。

[主な整備内容]

プログラム多段化

80基

押ボタン化

34基

### 円滑化対策交通安全施設整備事業費

31, 520

交差点改良による信号柱の移設及び災害対策のための配線地中化等、渋滞対策と交通 流の円滑化を推進する。

〔主な整備内容〕

信号柱更新

340式

配線地中化

10箇所

### 大型道路標識設置費

15.048

老朽化した大型道路標識の更新等を推進する。

〔主な整備内容〕

大型道路標識の更新

153本

### 路側式道路標識、標示設置費

75.608

平成28年度から2ヵ年計画で集中的に道路標示の補修事業を実施したが、引き続き磨 耗による劣化状況等を調査し、適正な交通管理を行う。

老朽化した道路標識の倒壊を未然に防ぐため、道路標識の効果的な更新を行う。

[主な整備内容]

道路標示の補修

313.9km

路側式道路標識の更新

3,678本

### 交通安全施設更新事業費

62.066

老朽化した単独制御機、信号灯器及び信号柱を更新し、交通安全施設の適切な維持を 図る。

[主な整備内容]

信号灯器の更新

44式

信号柱の更新

325式

交通管制センター中央地図板の更新 1式

### 交通信号機等設置費

12.673

信号機の新規設置等により、交通の安全と円滑化を図る。

「主な整備内容」

信号機の新設

17箇所

問い合わせ先

警察本部交通部交通規制課 鴻巣 電話045-211-1212 (内線) 5161

## 警察施設整備費の概要

計画

県民の安全を守る警察活動拠点である「警察署」及び「交番」などについて、社会情勢の変化への対応及び施設の老朽や狭あい、耐震性の状況などを視野に入れ計画的な整備を行う。

(単位:万円

											(	単位:	万円)
項		目/	′ 内	容							予	算	額
	厚	木警察	署新築	工事費								82,	800
		平成:	28年度~	~平成3	0年度	継続事業		総額:	27億6,	000万円	•		
	茅	ケ崎警	察署新	築工事	費							143,	400
		平成:	29年度~	~平成3	1年度	継続事業		総額:	22億	600万円			
新	浦貧	買警察	署新築	工事費		P 6参照	Į.					9,	500
		平成:	30年度~	~平成3	2年度	継続事業		総額:	19億1,	100万円			
	緑誓	警察署	新築工	事実施記	設計費							9,	000
		緑警	察署新銅	築工事に	に係る第	<b>ミ施設計費</b>							
新	警察	察署耐	震補強	工事調	<b>查設計</b>	費						1,	370
		田浦雪	警察署戶	宁舎耐鶦	夏補強コ	[事に係る調査]	設計費						
	警察	察署新	築工事	関連事	業費							6,	000
		警察	署新築.	工事に作	半い、厚	周辺建物の電波	受信、家屋等	の状況を	を調査す	る経費	·		
	公台	舎再編	整備計	画関係	業務費							96,	660
		民間	活力活用	∄ (РЕ	P方式	た) による公舎	再編整備事業	に係る場	死存施設	の解体工事に	要する約	圣費	
☆	運輔	<b>运免</b> 許	試験場	特定事	業費	P7参照					•	705,	864
		民間	活力活用	∄ (РЕ	₹ Ⅰ 手法	と) による運転	免許試験場の	整備、絲	推持管理	等に要する経	 費		
		平成:	27年度~	~平成4	9年度	特定事業契約	契約	〕金額:	195億	732万円			
	交	番新築	工事費									12,	877

交番の新築工事費及び翌年度建設予定の交番・駐在所の設計及び地質調査に係る経費 建設を行う交番

	所 属 名	交 番	区 分
1	港北警察署	(仮称)日吉宮前地区交番	適正配置
2	海老名警察署	(仮称)さがみ野駅前交番	適正配置
3	平塚警察署	花水台交番	老朽建替

設計及び地質調査を行う交番・駐在所

	所 属 名	交番・駐在所	区 分
1	川崎臨港警察署	(仮称)殿町地区交番	移転建替
2	鎌倉警察署	鎌倉山駐在所	老朽建替

問い合わせ先

☆について 警察本部交通部運転免許本部免許課 山田 電話 045-211-1212(内線)785-380 ☆以外 警察本部総務部施設課 中村 電話 045-211-1212(内線)2261



# 新浦賀警察署新築工事費

	(1)	加具言	<b>水 日 柳 木</b>	<b>二</b>
現 状(沿革等)	昭和35年3 昭和56年3 耐震診断結:	月別館増築	复雑化、敷地狭隘	h化(来庁者用駐車場確保が困難)
事業内容	急活動拠点るため、平	として、県民の安全	と安心を守る機能 設計、平成29年月	らには大規模地震発生時における成 能を備えた庁舎への建替えを実現す 度の実施設計に引き続き、平成30年 手する。
予 算 額(継続費)		〜平成32年度 3 から 内訳】 <mark>平成30年度</mark> 9,500万円	平成31年度 124,300万	字算額 19億1,100万円   平成32年度   円 57,300万円
		現	況	計画
施設等の 概 要	所 在 地 敷 地 建 物	横須賀市浦賀5丁 県有地 2, (庁 舎)RC-4 1, (その他) 合 計 1,	0 1 0. 1 8 m <sup>2</sup> 8 1 2. 3 4 m <sup>2</sup>	横須賀市久里浜1丁目地内国有地約4,000.00㎡(庁 舎) RC-43,370.95㎡(車庫等) S-1263.65㎡合 計3,634.60㎡

## 【浦賀警察署:外観予想図】



## (仮称) 運転免許センター本館棟の利用開始

#### 昭和38年8月 庁舎(本館他)建築(築後54年経過) 平成19年3月 二俣川地区県有地利活用計画策定 沿革及び 平成25年3月 PFI事業による整備・維持管理決定 計 画 平成30年5月 本館棟利用開始、庁舎維持管理開始 平成33年5月 試験コース整備完了予定 老朽化や利用者動線の複雑化、バリアフリー化の遅れなどを解消するため、PF I事業として新庁舎建設及び技能試験コースの整備を行っており、平成30年5月か 事業内容 ら本館棟の利用を開始する。 庁舎完成後平成49年度まで施設維持管理が実施される。 平成27年度~平成49年度 特定事業契約 契約金額:195億732万円 予 算 額 工事費 維持管理費 計 平成30年度 18,898万円 705,864万円 686,966万円 況 計 画 横浜市旭区中尾二丁目3番1号 施設等の 所 在 地 横浜市旭区中尾一丁目1番1号 概要 80,398 m<sup>2</sup> 103,300 m<sup>2</sup> 敷 地 建 物 15,883 m<sup>2</sup> 26,246 m<sup>2</sup> 1 すべての利用者にとって「使いやすく」「わかりやすい」優しい施設 ・ワンフロアーで手続が完結する利用者動線 バリアフリーへの配慮 特長 ・更新時講習の際、乳幼児と一緒に受講できる「親子ルーム」の設置 2 ライフサイクルコストの削減を考慮した施設

### 【(仮称)運転免許センター外観予想図】

太陽光発電設備の整備

